

第3期旭市総合戦略策定のための
転出者アンケート調査
調査結果報告書

令和5年10月

旭市

目 次

I. 調査概要	1
1. 調査の目的	1
2. 実施概要	1
3. 調査結果の見方について	1
II. 調査結果	2
1. 回答者ご自身のことについて	2
2. 転出理由	3
3. 転出先を決める際に考慮した条件	4
4. 旭市に住んで良かったところ	5
5. また旭市に住みたいと思うか	6
6. 自由意見	7
(1) 基本目標別件数	7
(2) 主な意見（要旨）・キーワード	8
【参考資料】 アンケート調査票	10

I. 調査概要

1. 調査の目的

本調査は、第3期旭市総合戦略の策定にあたり、本市を転出された皆さんの意見等を収集し、策定のための基礎資料とすることを目的として実施しました。

2. 調査概要

本調査の対象及び配布、回収状況は、以下のとおりとなっています。

《 調 査 概 要 》

- 調 査 対 象：令和4年中に本市から転出された方
- 抽 出 方 法：調査対象より300名を無作為抽出
- 調 査 内 容：1. 回答者自身のこと
2. 旭市から転出した理由
3. 転出先を決める際に考慮した条件
4. 旭市に住んでいて良かったところ
5. 機会があればまた旭市に住みたいか
- 調 査 期 間：令和5年（2023年）8月4日～8月21日
- 調 査 方 法：郵送配布、郵送・WEB回収
- 配 布 ・ 回 収：配布数 300票
回収数 78票（郵送42票・Web36票）
回収率 26.0%

3. 調査結果の見方について

調査結果の数値は、原則として回答率を構成比（％）として表記しており、小数点第2位を四捨五入し小数点以下第1位までを表記しています。このため、単数回答の合計が100.0%とならない場合(99.9%、100.1%)があります。また、1人の回答者が2つ以上の回答をしてもよい質問<複数回答>では、一般的に回答率は100.0%を上回ります。

- ・ 本文やグラフ、数表上の選択肢表記は、場合によっては語句を簡略化しています。
- ・ 本文中の「n」はその設問の有効回答数を示します。
- ・ 属性別分析結果において、構成比算出の母数(属性毎の回答者数)が少数になる場合、各比率は統計的な誤差の大きい可能性があるため、比率の取り扱いに注意する必要があります。

II. 調査結果

1. 回答者ご自身のことについて

回答者の属性は以下の通りとなっています。

図表 1 基本属性

(SA,n=78)		件数	構成比(%)
【問1】 性別	男性	34	43.6
	女性	41	52.6
	答えたくない(無回答)	2	2.6
	不明	1	1.3
【問2】 年代	10代	3	3.8
	20代	26	33.3
	30代	26	33.3
	40代	10	12.8
	50代	7	9.0
	60代	4	5.1
	70代	2	2.6
	80代以上	0	0.0
	不明	0	0.0
【問3】 世帯	単身	54	69.2
	夫婦	10	12.8
	核家族世帯(親と子)	12	15.4
	三世代世帯(親と子と孫)	0	0.0
	その他	2	2.6
	不明	0	0.0
【問4】 職業	会社員(従業員)	44	56.4
	公務員	5	6.4
	自営・自由業・経営者	6	7.7
	パート・アルバイト	3	3.8
	契約(派遣)社員	1	1.3
	学生	4	5.1
	専業主婦(主夫)	8	10.3
	無職(年金生活を含む)	5	6.4
	その他	2	2.6
	不明	0	0.0
【問5】 居住年数	5年未満	25	32.1
	5年以上10年未満	11	14.1
	10年以上20年未満	16	20.5
	20年以上30年未満	18	23.1
	30年以上	8	10.3
	不明	0	0.0

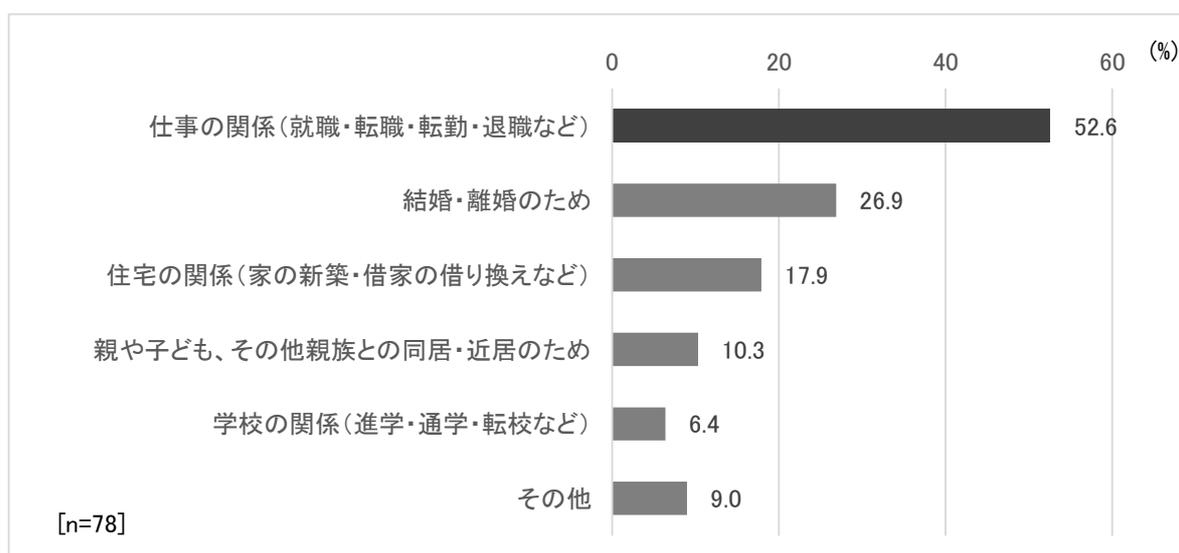
2. 転出理由

【問6】旭市を転出された理由は何ですか。（〇はいくつでも）

旭市から転出された理由は、「仕事の関係（就職・転職・転勤・退職など）」が52.6%と最も多くなっています。次いで、「結婚・離婚のため」が26.9%、「住宅の関係」（家の新築・借家の借り換えなど）が17.9%などとなっています。

「その他」としては、「被災地から離れた市内で適当な価格の土地が見つからなかった」、「子どもの療育・教育環境」、「グループホーム入居」、「DV」、「独り立ち」などとなっています。

図表 2 転出理由



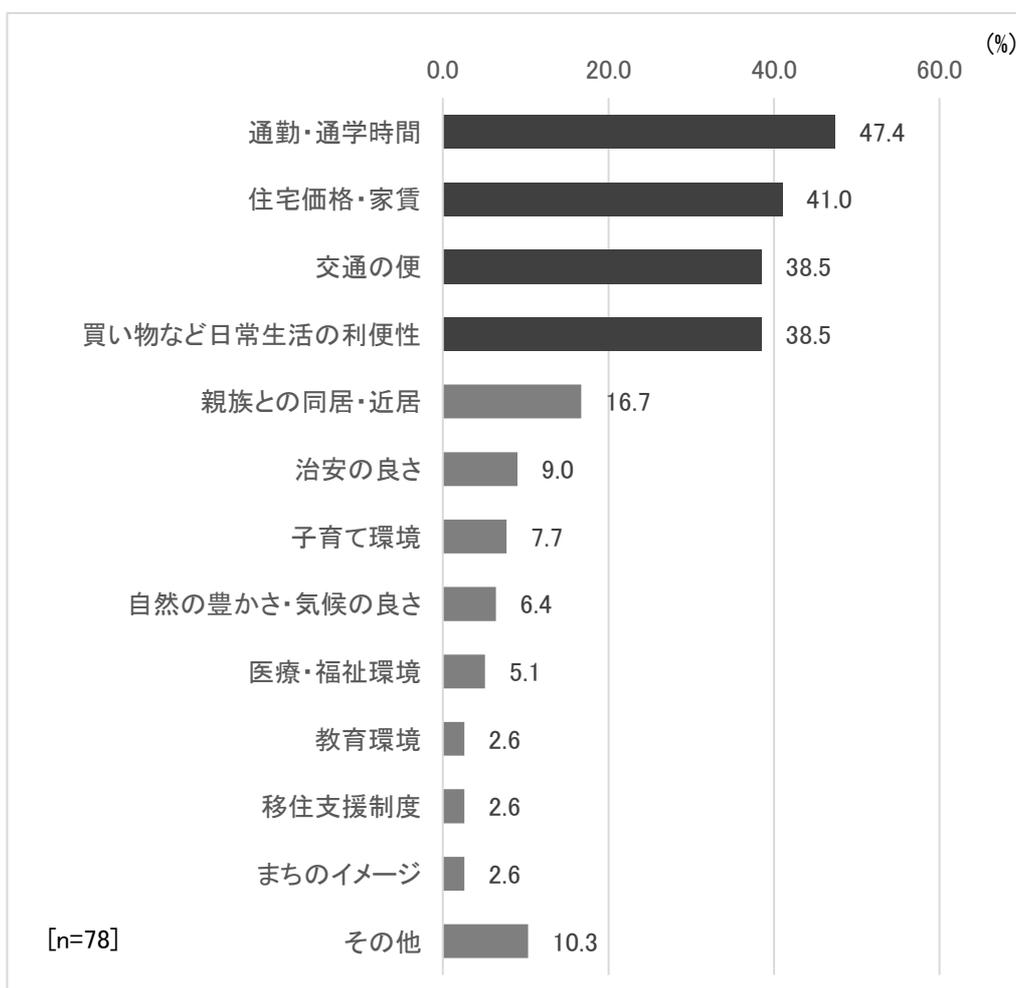
3. 転出先を決める際に考慮した条件

【問7】 転出先を決める際に考慮した条件は何ですか。(〇は3つまで)

転出先を決める際に考慮した条件は、「通勤・通学時間」が47.4%と最も多く、次いで「住宅価格・家賃」(41.0%)、「交通の便」(38.5%)、「買い物など日常生活の利便性」(38.5%)となっており、これら4項目が目立って高くなっています。

「その他」としては、「パートナーの職場の近く」、「ショッピングセンターに通える」、「地価(旭市内の土地が高かった)」、「住環境」(ゴミ・臭い)などとなっています。

図表 3 転出先を決める際に考慮した条件



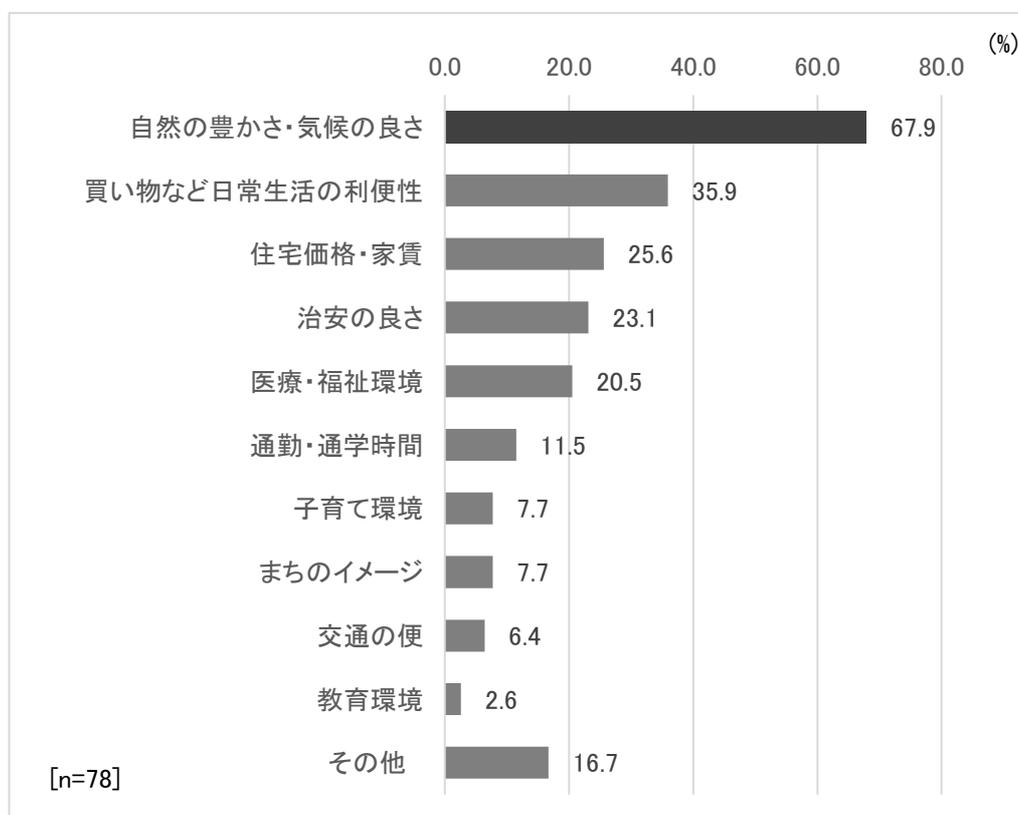
4. 旭市に住んで良かったところ

【問8】旭市に住んで良かったところは何ですか。(〇は3つまで)

旭市に住んで良かったところは、「自然の豊かさ・気候の良さ」が67.9%と目立って高くなっています。次いで、「買い物など日常生活の利便性」が35.9%、「住宅価格・家賃」が25.6%、「治安の良さ」が23.1%、「医療・福祉環境」が20.5%などとなっています。

「その他」としては、「食べ物がおいしい」が多いほか、「様々な面での給付制度」、「両親が近くに住んでいる」、「コロナの支援が手厚かった」などとなっています。

図表 4 旭市に住んで良かったところ

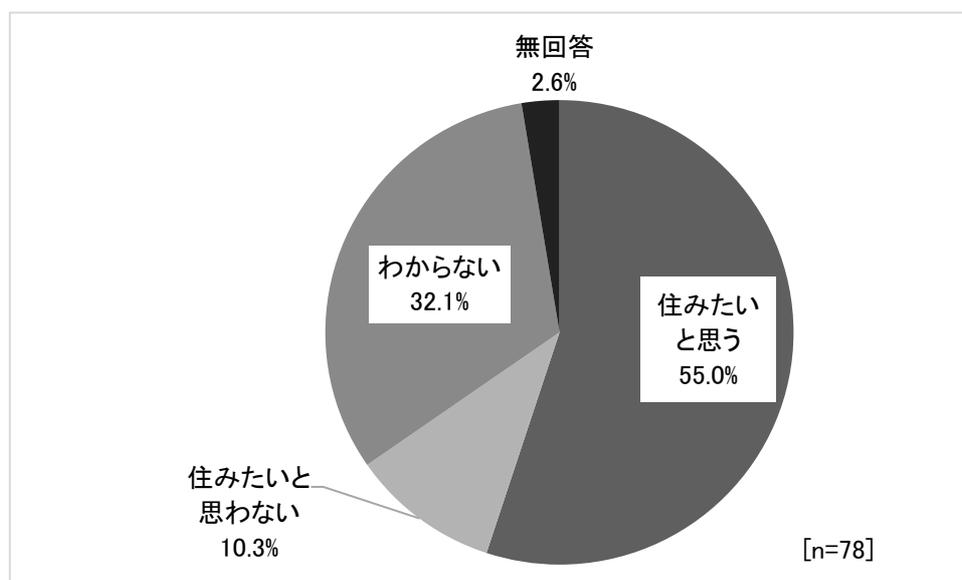


5. また旭市に住みたいと思うか

【問9】機会があれば、また旭市に住みたいですか。

機会があれば、また旭市に住みたいですかとお聞きしたところ、「住みたいと思う」が55.0%と半数強を占め、「住みたいと思わない」は10.3%とおよそ1割程度で、「わからない」が32.1%となっています。

図表 5 また旭市に住みたいと思うか



6. 自由意見

旭市と比べて、転出先の場所の方が良い点、悪い点、また今後の旭市に期待したい点がありましたらご記入ください。

(1) 基本目標別件数

転出先と旭市の比較や今後の旭市への期待に関して、ご意見を自由記述形式（回答者数 50 人）でたずねたところ、現行計画の基本目標 1 の「魅力ある雇用を創出し、安心して働けるまちづくり」に関するご意見が 15 件、基本目標 2 の「結婚・出産・子育ての希望がない、誰もが生きがいを持てるまちづくり」に関するご意見が 15 件、基本目標 3 の「ひとの定着・還流・移住の流れをつくり、人々が集うまちづくり」に関連するご意見が 22 件、基本目標 4 の「将来にわたって元気な地域をつくり、安全・安心で暮らしやすいまちづくり」に関するご意見が 21 件、となっています。

図表 6 自由意見・基本目標別件数

基本目標	件数
1. 魅力ある雇用を創出し、安心して働けるまちづくり	15
2. 結婚・出産・子育ての希望がない、誰もが生きがいを持てるまちづくり	15
3. ひとの定着・還流・移住の流れをつくり、人々が集うまちづくり	22
4. 将来にわたって元気な地域をつくり、安全・安心で暮らしやすいまちづくり	21

(2) 主な意見（要旨）・キーワード

転出先の自治体と旭市の比較や今後の旭市への期待に関する主な意見（要旨）・キーワードを、基本目標別・施策別に整理しました。

① 基本目標1

基本目標1「魅力ある雇用を創出し、安心して働けるまちづく」に関する主な意見（要旨）・キーワードは次のとおりです。

<主な意見（要旨）・キーワード>

- 農水産業の振興：旭市の方が肉・野菜・魚など食に関する充実度は高い、畜産が盛んなだけに臭いが気になるなど。
- 商業の振興：転出先には大手外食チェーンや若者向けのショッピングセンターが多い。
- 雇用の確保：転出先は仕事を選べる点が良い、旭市は食の数が少なく仕事をするのが難しい、今後の旭市に期待することは企業誘致と女性が住みやすいまちづくりなど。

② 基本目標2

基本目標2「結婚・出産・子育ての希望がかない、誰もが生きがいを持てるまちづくり」に関する主な意見（要旨）・キーワードは次のとおりです。

<主な意見（要旨）・キーワード>

- 保健・医療の充実：医療環境の改善（すぐに受診できない・旭中央病院だけでは対応できない）、旭中央病院勤務者の待遇改善など。
- 子育て支援の充実：転出先（さいたま市）には病院がたくさんあり子どもの急病時でも安心だが旭市は小児科が少ない、不妊治療・無痛分娩など出産に関する選択肢や発達障害の療育の充実度から転出を決意、旭市への期待は子育て支援、子育て支援や教育体制の充実など。
- 障害者福祉の充実：旭市にはA型作業所がなく、障害者が最低賃金を稼げる場所がないことが転出理由の一つ、障害者でも安心して住めるように。
- 互いに認め合う社会の形成：女性が住みやすいまちづくりを推進する女性議員や女性リーダーがいるとよい。

③ 基本目標3

基本目標3「ひとの定着・還流・移住の流れをつくり、人々が集うまちづくり」に関する主な意見（要旨）・キーワードは次のとおりです。

<主な意見（要旨）・キーワード>

- 安全で快適な道路の整備：転出先のよい点は都心に近いこと、悪い点は道路が混んでいること、旭市の今後に期待することでは銚子連絡道路の早期完成など。
- 安心・安全な水道の供給：転出先の水道代が高い。
- 居住環境の充実：転出先は大手の店が多くて買い物がしやすく都内への交通の便が良い、旭市は温暖で自然が多く公園もきれいで、生活利便性も高く住みやすい。
- 廃棄物の減量化と資源の有効活用：転出先ではゴミ袋は有料ではない、旭市は国道沿いや飯岡漁港周辺などにゴミの投棄が多い。
- 自然環境：旭市は星がきれいで気候もよく大好きなところ。

④ 基本目標4

基本目標4「将来にわたって元気な地域をつくり、安全・安心して暮らしやすいまちづくり」に関する主な意見（要旨）・キーワードは次のとおりです。

<主な意見（要旨）・キーワード>

- 消防・防災力の強化：旭市は住みよく、津波の心配がなければ住み続けていた。
- 防犯対策・交通安全の強化：車社会なのでもう少し舗装すべき。
- 公共交通網の整備：転出先（さいたま市）は交通の便が良く都内に出やすいので子どもの将来（進学）で選択肢が増える、旭市は公共交通の便が悪い、交通利便性が高まれば市内店舗への来客も増え市の活性化につながるなど。

⑤ その他

その他、全体的なよい点・悪い点・改善点に関する主な意見（要旨）・キーワードは次のとおりです。

<主な意見（要旨）・キーワード>

- 転出先の方が優れている点：交通インフラが圧倒的に優れている（自家用車は不要でどこにでも公共交通機関で安価に行くことができる）、病院が多い、お店が多く買い物利便性が高い、経済的メリットは都会も田舎もあまり変わらないなど。
- 転出先の方が劣る点：渋滞が多い、自然が少ない、家賃が高い。
- 旭市のよい点：生鮮食品がリーズナブルでおいしい、医療機関が充実している、飲食店が多くクオリティが高いなど。
- 旭市の悪い点：賃貸物件が古く賃料が高い、コミュニティバスの本数・停留所が少なく利用しにくい、宿泊施設が少なく来訪者の歓迎が難しいなど。
- 旭市の今後の改善点：移住に関するPR（助成金・住居の提供など）、観光・宿泊施設の充実、公共交通機関の充実、市内全体のキャッシュレス化、各種申請のスマート化、行政・医療・子育て施設の集約。

旭市の未来のために！ 「転出者アンケート」へのご協力をお願いします

これまで旭市にお住みいただき、ありがとうございました。

旭市は、令和2年度に「第2期旭市総合戦略」を策定し、「ず〜っと大好きなまち旭」の実現に向け、人口減少対策、地域経済の活性化に取り組んでいます。この計画が令和6年度に最終年度となることから、地方創生の更なる充実・強化に向け、切れ目なく取り組みを進めるため、「第3期旭市総合戦略」（令和7年度～令和11年度）を策定します。

策定にあたっては、本市から転出のきっかけや理由等についてもお聞きしたく、令和4年中に転出された方から無作為にお選びしたところ、あなたをアンケート調査の対象とさせていただくことになりました。このアンケートは無記名であり、個別の調査結果も公表いたしませんので、みなさまにご迷惑をおかけすることは一切ございません。

ご多忙中誠に恐縮でございますが、趣旨をご理解の上、是非ともご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和5年8月

旭市長 米本 弥一郎

- 記入された調査票は、同封の返信用封筒に入れて
8月21日（月）までにご投函ください。
- 本アンケートはWEB上でもご回答いただけます。
WEBでの回答をご希望の方は、右のQRコードから、
または下記URLよりアクセスしてご回答ください。

<https://questant.jp/q/RFAZ38ED>

【お問い合わせ先】

旭市役所 企画政策課（担当者：高木）
電話：0479-62-5307



該当するものに○を付けてください。

1. 性別についてお伺いします。

- ① 男性 ② 女性 ③ 答えたくない（無回答）

2. 年代についてお伺いします。

- ① 10代 ⑤ 50代
② 20代 ⑥ 60代
③ 30代 ⑦ 70代
④ 40代 ⑧ 80代以上

3. 今回転出されたのは、単身ですか、世帯ですか。

- ① 単身 ④ 三世帯世帯（親と子と孫）
② 夫婦 ⑤ その他（ ）
③ 核家族世帯（親と子）

4. 職業についてお伺いします。

- ① 会社員（従業員） ⑥ 学生
② 公務員 ⑦ 専業主婦（主夫）
③ 自営・自由業・経営者 ⑧ 無職（年金生活を含む）
④ パート・アルバイト ⑨ その他（ ）
⑤ 契約（派遣）社員

5. 旭市での居住年数は何年ですか。

- ① 5年未満 ④ 20年以上30年未満
② 5年以上10年未満 ⑤ 30年以上
③ 10年以上20年未満

第3期旭市総合戦略策定のための
転出者アンケート調査
調査結果報告書

令和5年10月
旭市